

平成25年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成25年度予算査定は、平成24年12月から平成25年1月にかけて実施され、平成25年2月21日に、平成25年度予算案を記者発表いたしました。

平成25年度予算案は、自治体の公共サービスの的確な執行と新名寄市総合計画後期計画で想定される事業を具現化することを最優先として編成いたしました。

予算編成における市長査定の状況を、主な事業を中心にお知らせいたします。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
国際交流事業 新年度では、新たにユジノサハリンスク道北物産展への参加と、台湾において、次世代を担う子供たちとの交流活動を実施します。 ユジノサハリンスク道北物産展では、友好都市であるドーリンスクとの物産交流も視野に入れて活動します。台湾との交流では、中学生による野球交流や、台湾の高校生の受け入れなどを目指します。 ※新たに取り組む事業 ○名寄・ドーリンスク友好委員会道北物産展補助金 1,000千円 ○名寄・台湾交流実行委員会補助金 4,000千円 ○台湾教育旅行モニター事業委託料 2,200千円 (上記関連事務経費 100千円)	要求額 2,184				2,184	ユジノサハリンスク道北物産展では、旭川市、留萌市、稚内市、紋別市、士別市とともに、道北地域の物産販路拡大と、人・物との交流を図ることを目的としています。名寄市ではさらにドーリンスク市との経済交流の活性化も視野に入れ、参加することとしました。 台湾との交流については、去る1月26日に台北駐日経済文化代表處の羅副代表一行が来名され、台湾との交流チャンネルが開きました。北海道への外国人観光客は台湾が最多ということもあり、この機会を逃さず交流人口の拡大へとつなげていくこととしました。また、観光のみならず、野球を通じた本市の中学生との交流も図り、台湾で広く見聞を深める機会となる事業とし、事業費を追加して査定しました。
	査定額 8,484 ○実施(増額)		7,300		1,184	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容	
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源		
移住促進事業 平成24年度では、名寄市移住促進協議会を立ち上げ、官民一体となった受入体制を構築してきたところです。 新年度では、移住体験として「ちょっと暮らし」ができる施設がないことから、旧風連高校教員住宅を改修し、移住体験のための環境整備を整えていきます。	要求額 2,206				10	2,196	観光の繁忙期などの影響を受けずに、比較的自由に提供できる移住体験施設を、教員住宅の改修で安価に設置できるということ、また、実際に地域でのつながりを意識しながら移住を体験できるため、移住後の生活をイメージしやすくなるということから、要求通りの査定としました。
	○実施 査定額 2,206		1,200		10	996	
地域おこし協力隊事業 都市住民を地域に受け入れ、地域おこし活動の支援や住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着も図りながら、地域の活性化に貢献してもらいます。平成25年度では農業分野で2名、観光分野で1名を募集します。	要求額 5,448					5,448	地域の活性化に寄与していただく段階から、さらに定住までつながるような事業構築とし、査定しました。当初要求は農業分野のみの事業でしたが、観光振興を通じて地域の活性化に資する人材を求めるとし、事業費を追加して予算としました。
	○実施（増額） 査定額 12,993					12,993	
新エネルギー・省エネルギー推進事業 新エネルギー・省エネルギーを推進していくため、太陽光発電導入事業や省エネ節電モニター事業など、「名寄市新エネルギー・省エネルギービジョン」の目標達成に向けた各施策を推進します。 ※主な事業 ○太陽光発電導入事業 4,200千円 ○省エネ節電モニター事業 448千円	要求額 5,074					5,074	東日本大震災後、地球環境に負荷の少ない再生可能エネルギーへの注目が高まるなど、新しいエネルギー政策について再構築の機運が高まってきました。名寄市においても「名寄市新エネルギー・省エネルギービジョン」を策定したところです。新年度ではこのビジョンの目標達成に向けて取り組みが必要と判断し、要求通りの査定としました。
	○実施 査定額 5,074		4,200			874	
子育て応援事業 1歳まで無事に成長したことをお祝いするとともに、これからも健やかに育つことを祈る伝統行事である一升もち（誕生もち）を、もち米生産日本一を誇る名寄自慢のもち米を用いて名寄市からのお祝いとして贈り、子育てを応援します。	要求額 1,305					1,305	名寄市の特産であるもち米を用いて、お子様の健やかな成長を願う、名寄市ならではの取り組みと判断し査定しました。また、事業量や単価を精査して査定しています。 290名×お祝いの単価3,150円÷914千円
	○実施（精査） 査定額 914		900			14	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
子育て応援講演事業費 東京及びその近郊で活躍する著名な料理人を招き、名寄の地場食材を用いた子供向けメニューの提案、食に関するシンポジウムなどを開催し、名寄市民全体の地場産品消費拡大につなげていくものです。	要求額 2,430 査定額 0 × ゼロ査定				2,430 0	事業内容から、子育てに対する側面、食育に関する側面、地場産品の消費に関する側面など多方面からの取り組みが可能と思われます。しかしながら、まだ整理がついておらず、さらに議論を深めてから実施すべきと判断し、ゼロ査定としました。
となみが丘霊園改修事業 近年、高齢化を背景に、墓参に際しては墓石近くまで車で来園される方が多くなっています。現在の霊園では高地部分に駐車帯がなく、またう回路が舗装整備されていないため、一方通行に反した運行が見られるため、駐車帯・案内標識の設置及びう回路の道路改修を実施するものです。	要求額 2,919 査定額 1,838 △一部実施			1,800	2,919 38	駐車帯の設置については、予定箇所は地盤が弱く設置に不安があること、また、傾斜の状況などから、駐車帯を使用せずに墓石近辺への駐車となってしまうおそれがあると判断し、見送りとしました。標識の設置と、う回路の防塵処理により、安全な通行を確保することとしました。
清峰園発電機設置工事 現在設置されている発電機は、消防法で定められたスプリンクラーや酸素吸引機器など生命を守る最低限の設備を稼働させるものであります。清峰園では、ユニット型の介護を実施しており、ユニット単位での照明、ナースコールなど、また、事務室でのサーバーや電話交換機などへの電源供給を可能とするため、新たに自家発電装置を追加します。	要求額 33,001 査定額 33,001 ○実施	26,400			33,001 6,601	災害発生時など緊急時においても、施設に入居している皆さんに適切な介護が行えるような、安全で安心できる設備への改修であると判断し、要求額通りに査定しました。 また、地域の元気臨時交付金の対象としました。
無名川水位通報装置設置工事 大雨などで、たびたび氾濫をおこす風連地区を流れる「無名川」に水位警報装置を設置し、緊急時には早期に対応がとれる体制をつくります。水位警報は、担当者などに携帯電話を通じ連絡されることとなります。	要求額 2,000 査定額 2,000 ○実施				2,000 2,000	無名川の監視体制を強化することが、近年頻発する大雨災害に対する初動対応として必要と判断し、要求通りの査定としました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
通学路街路灯修繕事業 通学路の防犯灯は水銀灯40Wを中心に設置し、一定の明るさを確保しておりますが、PTAより明るさ向上の要望を毎年いただいています。このため水銀灯80W程度の照度を持ち、寿命も長いLED防犯灯への取り換えを実施していきます。平成24年度では既に25基を取り替えています。平成25年度では30基を予定します。10力年で通学路の370基を取り替える計画です。	要求額 1,040				1,040	水銀灯は約3年で球を交換しますが、LEDの寿命は12～15年程度であり、ランニングコストの削減が見込まれています。省エネにも寄与しますし、通学路の安全確保に対し、有効な手段と判断して要求額通りの査定としました。今後は、財源の確保も含め、更新期間が短縮できないか検討することとします。
	査定額 1,040 ○実施					
徳田18線緑丘連絡線道路改良舗装事業 本路線は、道道旭名寄線と国道239号とを連絡する重要な路線であり、近年、特に大型車両を中心に交通量が増加しています。また、冬期には積雪により幅員が減少し、車両のすれ違いに支障が出ている状況にあります。このため、本路線を整備し、道路幅を拡幅するなどの改良を実施し、安全で円滑な交通の確保を図ります。	要求額 52,750	32,500	20,000		250	当該路線は、幅員も狭く、途中で踏切があるなど通行に注意を要する路線です。道道と国道を連絡しており、本市にとっても重要な路線であり、安全の確保を第一に考慮し、要求通りの査定としました。
	査定額 52,750 ○実施	32,500	20,000			
薬用植物振興事業補助金 名寄市における薬草栽培は、高齢化や担い手不足により生産者が減少しています。しかし一方では、近年の健康志向などにより、国内・世界的な漢方薬ニーズが高まっています。 道北の冷涼な気候風土でなければ栽培できない薬草も多く、この地域で培われた栽培技術の知識や経験・技術を生かし、新たな栽培体系の確立が必要です。このため、名寄市に適した薬用植物の栽培技術向上や、市場性についての調査研究を補助します。	要求額 300				300	名寄市内には薬用植物資源研究センター北海道支部があり、寒冷地における薬用植物の栽培研究について先進的な取り組みがなされています。また、栽培実績をもつ農業者もおり、栽培技術面などにおいて有利な地域であります。中国産の薬用植物が高騰している状況下で、販路の拡大や流通経路の状況、需給動向調査などを的確に実施し、売れる薬用植物の栽培体系を確立することを目標に、要求通りの査定としました。
	査定額 300 ○実施		300			

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
ご当地グルメ推進事業補助金 平成24年度に策定した観光振興計画では、観光事業を推進していく上で「食」を重要なコンテンツと位置付けています。名寄市ではご当地グルメとして「煮込みジンギスカン」を売り込み、首都圏を中心とした各イベントに参加し市内外に定着を図り、まちのPRや観光の振興、地域の活性化を図ります。	要求額					観光振興から交流人口の拡大、経済を中心とした地域の活性化を図るためには「食」を通じたまちのPRや、各イベント参加を通じた「食」の魅力の発信が重要だと考えています。また、そのまちならではの食文化に対する誇りに裏打ちされた活動であることも大切です。新年度では旭川での食マルシェや全国鍋合戦への参加、杉並区でのイベント参加とともに、地域の食文化に対する誇りの醸成にも取り組むこととし、要求通りの査定としました。
	1,992				1,992	
	査定額					
	1,992 ○実施		1,900		92	
ひまわり観光推進事業補助金 平成20年度より、サンピラーパークのひまわり畑をメインに、ひまわり観光を展開してきました。平成23年公開の映画「星守る犬」のロケ地にこのひまわり畑が使われたこともあり、名寄のひまわりに対する認知度が高まりましたが、さらに知名度の向上を目指します。また、去る平成25年3月5日には、女子マラソンオリンピックメダリストの有森裕子さんに「名寄ひまわりまちづくり大使」の委嘱状を交付させていただきました。これらの取り組みも含め、名寄市は「ひまわりのまち」であるという認知の定着と、ひまわり観光の推進を図り、地域経済の活性化や新たなまちづくりを推進します。	要求額					ひまわり観光は、平成24年度から予算を計上し、策定された観光振興計画に基づき、事業展開をしているところです。サンピラーパークを中心とした、ひまわり観光を展開していきますが、平成24年度に引き続き、市内主要幹線（国道239号、大通）や公共施設へのひまわり植栽により、市内全体での取り組みとして、相乗効果を図ります。 ひまわりを用いた商品開発については、「緑の分権改革事業」などの他事業での取り組みも可能であることから、削減しました。
	5,500				5,500	
	査定額					
	4,700 △一部見直し		4,700		0	
						・サンピラーパーク観光事業 2,000 ・なよろ239ひまわりロード事業 568 ・大通中央分離帯ひまわりロード事業 118 ・ひまわりプランター事業 74 ・秋のひまわり事業 300 ・ひまわりのまちプロジェクト事業 1,110 ・ひまわり情報発信事業 530

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
なよろ温泉整備事業 なよろ温泉サンピラーは平成9年のリニューアル後15年が経過しています。ボイラーなど機械設備や、備品の老朽化により、それらの更新時期を迎えています。特に機械室の機器が停止に至りますと、温泉施設なども営業ができなくなる危険性があります。リニューアルの手法によっては、集客につながりますので、経営状況の改善も見込むことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械室など設備更新 80,687 ・ 浴室改修 4,700 ・ 外壁など外部改修 19,250 ・ 監視カメラ 1,869 ・ 休憩スペース備品 1,225 ・ 給茶器、椅子など利用客用備品 4,023 ・ 周辺環境整備備品 4,609 	要求額 116,363				116,363	近年、なよろ温泉サンピラーは、リニューアル効果が薄れ、さらに燃料の高騰や宿泊客の減少などにより、厳しい経営状況となっています。また施設自体も老朽化が目立ち、特に重要な機械設備であるボイラーは故障が目立ち始めています。 リニューアルにおいては、「経営改善につながる更新」と「施設設備の老朽化にともなう更新」と大きく二つの考え方に分け、新年度はより緊急度の高い「施設設備の老朽化にともなう更新」を優先することとしました。 今後の課題では、当然「経営改善につながる更新」についても、施設の管理運営者と協議を進め、より効果的かつ、名寄日進地区における施設のあり方も視野に入れ、計画的に進めてまいります。 ・ なよろ温泉サンピラー改修工事 (ボイラー設備、空調設備など) 80,687 ・ 備品購入費 (監視カメラ、給茶器など) 3,240
	査定額 83,927 △一部見直し			83,900	27	
図書館改良事業 昭和45年の建築後、老朽化が進んでいる箇所に加え、建設当時の設備の陳腐化が見られるため、機能の向上を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4 階外壁改良 2,265 ・ 1 階トイレ洗面台改良 2,349 ・ 各部屋窓断熱化 4,887 ・ 録音室改良 2,009 ・ その他施設改良 1,790 	要求額 13,300				13,300	名寄市立図書館の改修については、新名寄市総合計画後期のローリング（見直し作業）の中でも論議してきたところです。建て替えに際しては、事業費及び財源確保を踏まえどの年度とするか、また、建設候補地や先行する大学図書館との関連性などの課題があるため、まずは施設設備の改良から長寿命化を図り、課題についてはさらに議論を深めることとして、要求額通りの査定としました。また、地域の元気臨時交付金の対象としました。
	査定額 13,300 ○実施	10,640			2,660	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
南小学校校舎・屋内運動場建設事業 名寄市内小中学校適正配置計画に基づいた小学校の再編により、名寄南小学校の敷地内に新校舎・屋内運動場などの建設に向けた基本設計、地質調査を実施します。 ・基本設計委託料 23,000 ・地質調査委託料 6,800	要求額 29,800				29,800	名寄南小学校と名寄豊西小学校を再編し、新しい小学校として建設するものです。両校とも旧耐震基準に基づく施設であり、より安全な校舎とするとともに、充実した教育活動を実践できる施設環境を整えます。時代にあった教育環境を整備する観点から昨年度より計画が進んでいますので、要求通りの査定としました。
	査定額 29,800 ○実施				29,800	
学校力向上実践事業 本事業は、学校の教育力を高めることを目的として、北海道教育委員会が名寄小学校を学校力向上実践指定校として定め、平成24年度から本格実施されるものです。 実践指定校において学校力向上に関する様々な取り組みを行うことにより、名寄市内各学校にその成果を波及させ、児童・生徒の学力などの向上につなげていきます。	要求額 2,344				2,344	本事業は名寄小学校を実践指定校とし、近隣校として名寄南小学校、名寄西小学校、風連中央小学校を指定しています。本事業を通じ学力・体力などの向上を図り、当該校から将来のスクールリーダーとなる教員を輩出していくことを目的としています。 予算要求では、「分かる授業」を実践していくため、授業改善に直結する電子黒板や実物投影機などを購入しようとするもので、要求通りの査定としました。
	査定額 2,344 ○実施				2,344	
大学図書館整備事業 平成24年度に策定した、大学図書館の「基本構想・基本計画」に基づき、平成25年度は、「学生の学修支援」「教育研究支援」などを実現するため、大学図書館の機能・施設計画等を盛り込んだ基本設計に取り組みます。	要求額 18,000				18,000	大学図書館は、名寄市立大学における教育・研究の要となる重要な施設です。現状では、図書館が2か所に分かれている状況に加え、書架や閲覧のための十分なスペースが無いこと、メディアから情報を得る設備が不足しているなどの課題が浮かび上がってきています。大学にふさわしい学修・教育研究環境の構築が不可欠と考え、要求通りの査定としました。
	査定額 18,000 ○実施				18,000	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
児童センター体育室屋根改修事業 昭和42年建築より46年が経過しており、体育室は老朽化にともなう雨漏りなど、著しく使用環境が悪化しています。屋根トタンの張り替え、破風部分の修繕のほか、天井内張り板の修理も実施し、安全で快適な施設に改修するとともに施設の延命化を図ります。	要求額 5,565				5,565	名寄市児童センターでは、教育相談業務や、さまざまな理由で登校できない子どもさんのための適応指導教室事業などを実施しており、体育室は主にレクリエーション活動に使用されています。名寄市の教育行政における重要な施設であり、この体育室の修繕・延命化で平成23年度に実施した児童室・事務室などの改修とあわせ一通りの修繕が終了するため、要求額通りの査定としました。
	査定額 5,565 ○実施			5,500	65	
名寄東小学校屋根塗装工事 屋根に積もった雪が、滑り落ちない状況にあるため、雪が屋根に堆積します。このため融けた雪が建物内部に漏れ出しており、また、軒先の剥れなど構造物にも影響がでているため、屋根の塗装を実施し、解消を図ります。	要求額 7,770				7,770	屋根に雪が積もったまま滑り落ちない要因は、屋根塗装の老朽化も原因の一つであり、その他にも、円形と方形を組み合わせた屋根形状や、シンボルタワーの形状など、複数の要因が重なっているものと思われます。名寄東小学校では、その他にも断熱複層ガラス窓の内部フィルム剥離や、外部木構造の老朽化など、複数の課題があるため、改修における問題点を整理し、足場の設置などにおいて効率的な修繕計画を再度構築することとしました。しかしながら、屋根そのものに穴があいている箇所があるなど、早急に改善すべき部分は計上された一般修繕費で実施することとしました。
	査定額 200 △一部実施				200	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<p>なよろ市立天文台展示スペースリニューアル事業</p> <p>天文台の展示スペースの現状は、名寄市立天文台の設置者である木原秀雄先生に関わる資料や望遠鏡、旧プラネタリウムの投影機、ピリカ望遠鏡のレプリカ、いん石などがありますが、展示物を見学する順序が未整備であることや、宇宙や惑星に関するものが無いのが実態です。</p> <p>来館した際に天文台に来たというインパクトに欠けること、また観光施設として天文台を位置付けた場合、より集客力を持つ宇宙を実感させる夢のある展示に乏しいことなどから、リニューアルを実施しようとするものです。</p>	<p>要求額</p> <p>15,241</p> <hr/> <p>査定額</p> <p>0</p> <p>× ゼロ査定</p>				<p>15,241</p> <hr/> <p>0</p>	<p>なよろ市立天文台は、交流人口拡大の点からも重要な施設であります。悪天候で星が観測できないとき、また、入込数が落ちる冬期間でも魅力的な施設とするため、展示スペースをリニューアルするという考え方は理解できます。しかしながら、魅力ある展示スペースとするために費用をかけるのではなく、例えばその時々天文現象に特化した「特別展示」を実施してみたり、また職員の専門知識を生かした展示など、より柔軟な取り組みができないでしょうか。名寄市独自の展示のあり方も模索していただきたいこと、また、天文台が平成22年4月にオープンしてから3年弱の短い期間の中で、来館者のニーズを的確にとらえたりリニューアルとなるのかさらに議論を深めることとし、ゼロ査定としました。</p>

